

2026

美術館・新図書館連携事業

大型絵本展 &

いわおひでき 原画展

『りゅうのおくりもの』

『ふるやんぼろど』

1.31  ▶ 3.1 

別府市美術館

10:00 - 17:00 (入館は 16:30 まで)

観覧料 210 円 (中学生以下は無料)

主 催: 別府市美術館

協 力: 森宗明 / ザ・キャビンカンパニー

【問合せ】別府市美術館

別府市野口原 3030-16

TEL: 0977-75-8710

【休館日】2月2日(月)、9日(月)、16日(月)、24日(火)

【後 援】

NPO 法人大分県芸術振・大分合同新聞社・今日新聞社

NHK 大分放送局・OBS 大分放送・TOS テレビ大分

OAB 大分朝日放送・CTB メディア・エフエム大分

イベント(民話朗読)案内

2026 年 2 月 1 日(日) 13:30 ~

おはなし「ふるやんぼろど」他 2 話

朗読: 森 北実 / 伴奏: 森 実香穂

場所: 別府市美術館 2F

いわおひでき <りゅうのおくりもの>

2026年3月、市民待望の新図書館が美術館と同一エリア内に新築移転オープンします。美術館、新図書館の連携事業として、図書館が所蔵する大型絵本を面配架展示し、あわせて美術館所蔵の洋画家・岩尾秀樹の絵本原画『りゅうのおくりもの』、『ふるやんぼるど』、個人所蔵の『大分の民話』を公開します。

また、2019年に美術館で開催した「ザ・キャビンカンパニー絵本原画展」のワークショップで、ザ・キャビンカンパニーと別府の子どもたちが共同制作した「ガシガシトラ」を展示し、メルヘンの世界を創出します。



りゅうのおくりもの



二年ごしのひでりの中 村人たちはりゅうじんさまの力を
借り 雨をふらせる。そのため しょうやの末娘が犠牲に
なった。はたして 娘はしあわせを手に入れられるのか？



ふるやんぼるど



おお雨のふるばんに おおかみは じいさと ばあさの話をきいた。
「おおかみよりも とらよりも ふるやんぼるどが なお おでえ。」
いったい「ふるやんぼるど」とは 何者なのか？

『りゅうのおくりもの』は30年来の親友である土屋北彦と岩尾秀樹が、それぞれ文と絵を担当し、1978年に株式会社小学館より世界のメルヘン絵本シリーズとして発行されたものです。『ふるやんぼるど』も収録されています。



ザ・キャビンカンパニーと別府の子どもたちの共同制作「ガシガシトラ」(2019年 182cm×728cm) 別府市美術館所蔵

「ガシガシトラ」は、2019年に別府市美術館で開催した、ザ・キャビンカンパニー絵本原画展「あたまのなかのぼうけん」IN BEPPU ワークショップ「生まれよ！ ガシガシトラ」で制作されました。

